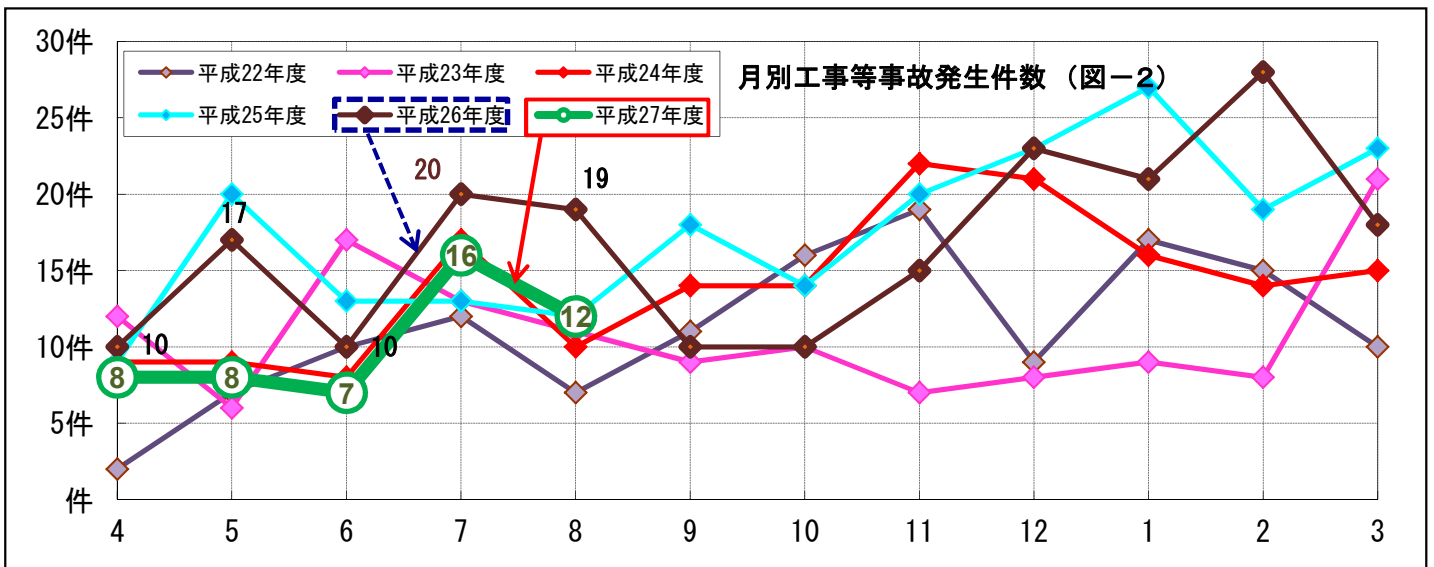
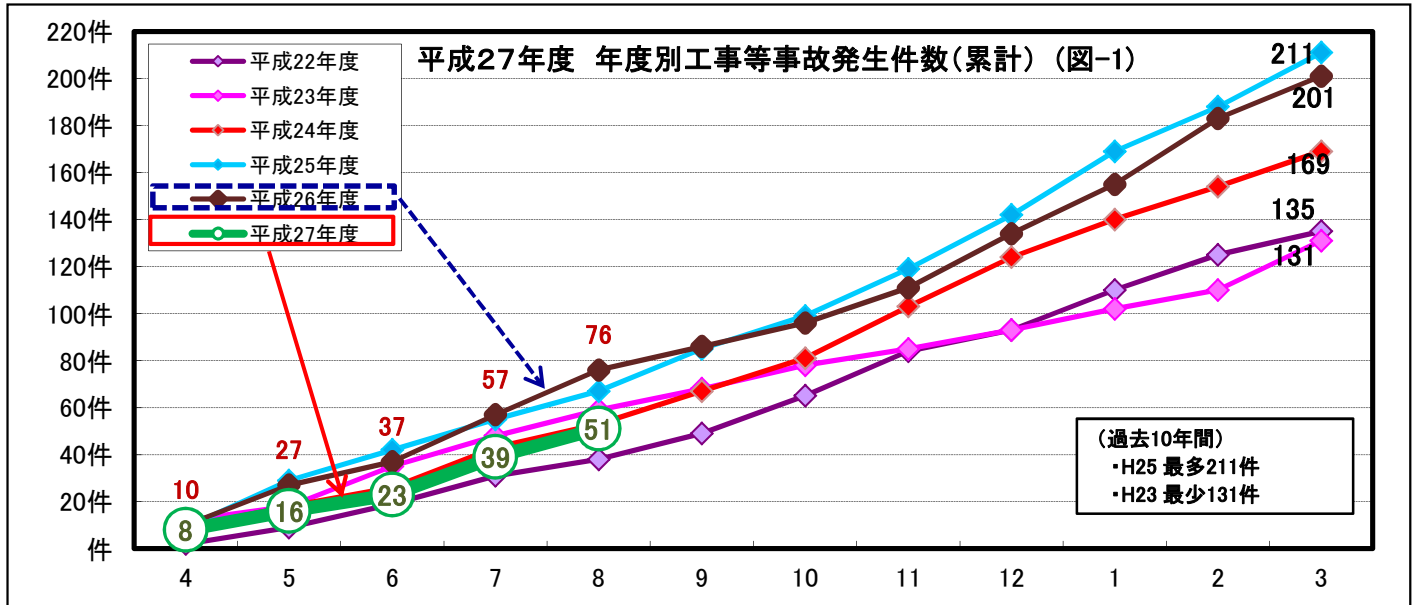


## 平成27年度請負事故件数速報(暫定値 4月～8月)



平成27年度における8月までの事故件数(暫定値)は、昨年の同時期に比べて、減少(図-1)

平成26年度 (累計)	平成27年度 (累計)	
4月 10件	4月 8件	△ 2件
5月 27件	5月 16件	△ 11件
6月 37件	6月 23件	△ 14件
7月 57件	7月 39件	△ 18件
8月 76件	8月 51件	△ 25件

平成27年度8月までの月別工事発生件数(暫定値)は、前年度の同時期に比べ減少(図-2)

平成26年度	平成27年度	
4月 10件	4月 8件	△ 2件
5月 17件	5月 8件	△ 9件
6月 10件	6月 7件	△ 3件
7月 20件	7月 16件	△ 4件
8月 19件	8月 12件	△ 7件

暫定値ではありますが、前年度に比べて、工事事故は減少しています。これも工事に取り組む関係者の努力と言えます。

今後、下半期に入り、工事の繁忙期を迎えます。安全に対する意識を高め、より一層安全対策に努めて下さい。今年度の特徴として、工事事故51件のうち、17件は工事関係者の車両運転時の不注意による交通事故となっています。第三者事故、死亡事故となるおそれもあります。より実践的な安全教育をお願いします。



# 草刈時の事故に注意！！

今年度に入り、草刈時の事故が発生しています。重点項目の飛石による事故2件、設置物の破損が見られます。今一度、草刈時の注意点を確認し事故防止に努めて下さい。下記に事故事例と対策の例を載せておきます。

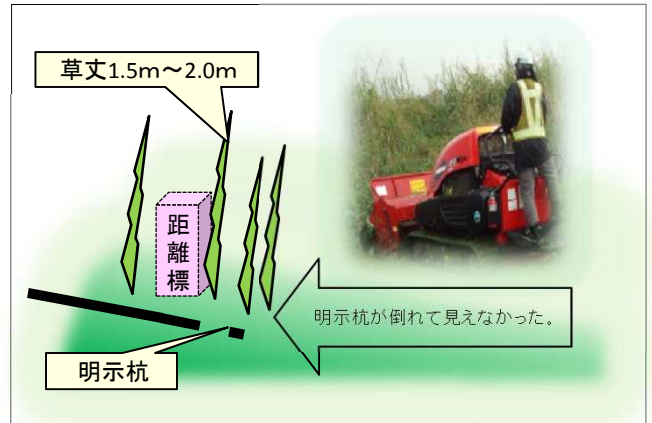
## 事例 ハンドガイド式での距離標の破損

堤防除草作業中、距離標(コンクリート柱)に除草機(ハンドガイド式)が接触し、距離標が破損した

**被害:** 距離標コンクリート破損

**原因:** 事前調査を行い距離標の所在を示す明示杭をしていたが、明示杭が倒れており、作業前の点検が不足していた

**対策:** 障害物等現場内の事前調査・作業前点検の実施を徹底する



## 他地整の河川維持工事で死亡事故発生

他地整で河川維持工事中に除草機械の下敷きになり死亡する事故が発生しました

### 事故概要

堤川表法面を除草機械を2台使用して作業中、方向転換をした際、何らかの原因でオペレーターが除草機械から転落し、バックした除草機械の下敷きになった。救出され、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。



### 作業前の対策(抜粋)

◎ 作業範囲内に障害物(ゴミやケーブル、距離標など)がないか確認し、取り除けないものがある場合はわかりやすい目印(ポールや、リボンなど目立つもの)をつけ、倒れないようにしっかりと固定し、障害物の周りを手刈りする

### 肩掛式の注意点

◎ 道路、民家等の近接箇所では必ず飛散防止ネット等を配置して作業を行う。また、車両や通行人が近づいたときは作業を中断する

対策につきましては、あんぜん第249号(平成27年5月号)に掲載していますので、参考にして下さい。

## 平成27年度 全国労働衛生週間(10月1日~7日)

主唱者 建設業労働災害防止協会



～スローガン～

**職場発！心と体の健康チェック はじまる 広がる 健康職場**

上記をスローガンとし、事業所における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることとします。

また、管内の直轄工事現場においても、作業環境について、パトロール等で点検するなど、適切な作業環境の確保を図るようお願いします。